

次代のニューアイテム!

SPIDER ST1

つながり方ガイド

スタンダードモデルながら、セナ・メッシュ・グループ通話機能を備えたスパイダーST1インターコム通話機能をセナ・メッシュシステムだけに絞ることでリーズナブルな価格を実現でも、実はインターコム通話ができるのは、セナ・メッシュ・インターコムに限らないちょっとした工夫で、いろんなブルトウース・インターコムとつながることができる!

文/八百山ゆーすけ
問: セナブルトウースジャパン <https://senablueooth.jp>



SPIDER ST1

価格: 3万2780円
サイズ (メインモジュール): 86×52×27.5mm
通話距離: Meshインターコム2.0km



AさんがSPIDER ST1を選んだ理由

- ・ たまに走るメンバーは SENA MESH ユーザー
- ・ 基本、ソロライダー

とはいえ、つながりたいときもある……?

セナBluetooth インカム

つながりたい!

メンバー 20S EVO



「+MESH」を一台持っておけばセナのインターコムすべてとつながる

手取り早くセナのブルトウース・インターコムとつながるなら、セナの「+MESH (メッシュ)」を使うのがオススメ。+メッシュはセナ・メッシュとブルトウースというふたつの通信システムの「中継器」。スパイダー ST1とセナのブルトウースのインターコムをそれぞれこの+メッシュに接続する形で使う。これ1台持っておけば、セナ・メッシュのモデルに限らず、セナのインターコムすべてと接続して会話できるようになるぞ。



Other item
+MESH
価格: 1万9140円

Pattern 2

メッシュ通話でセナBluetooth インカム

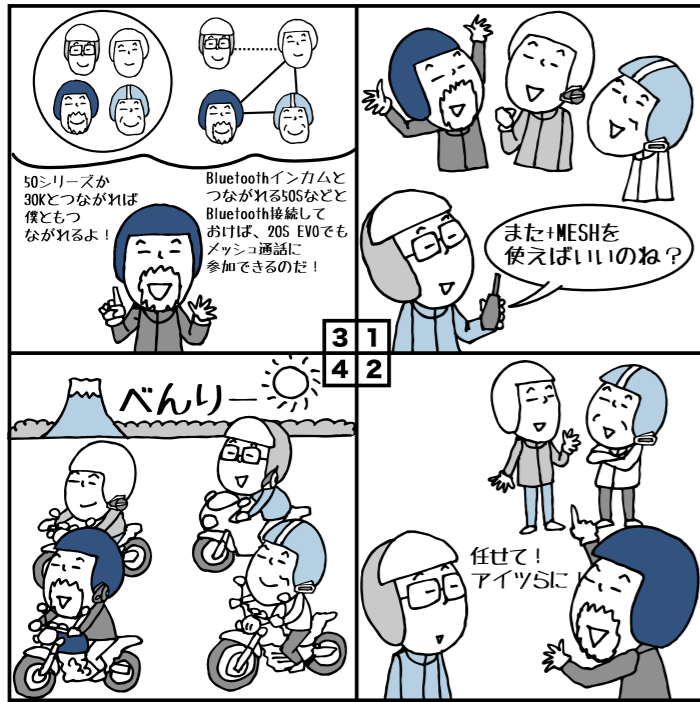
つながりたい!

メンバー 50S.50R.20S EVO



メンバーのセナ・メッシュ対応機を介してブルトウース・インターコムが参加可能

スパイダー ST1 を選ぶ大前提が、「ツーリングメンバーがセナ・メッシュのインターコムだから」ということ。つまりメンバーは50SやSRL-MESHといったセナのクアンタムシリーズや30Kを使っていることになる。これらのモデルはいずれもブルトウース・インターコムとの接続機能を備えている。そのため、ブルトウース・インターコムを使うメンバーは、仲間のメッシュ・インターコムを介してあなたと通話できるわけだ。



Pattern 3

B+COM SB6XR

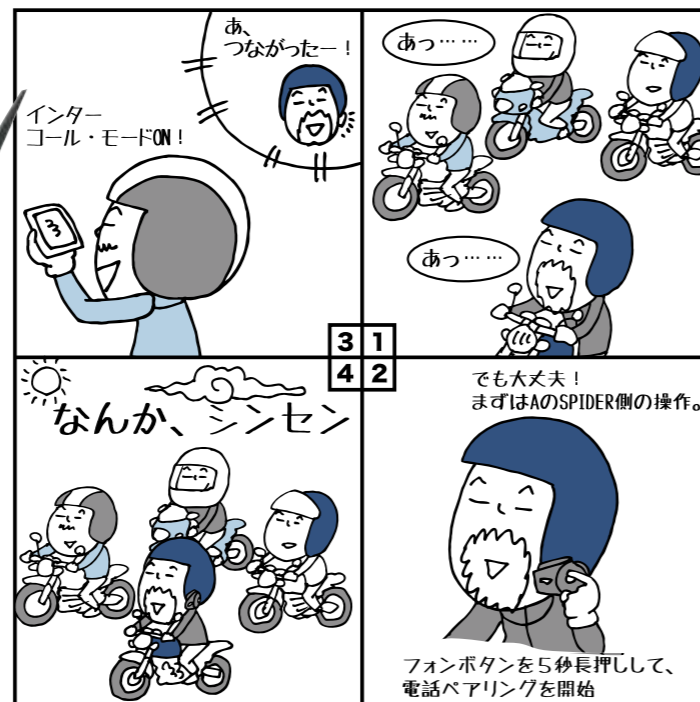
つながりたい!

メンバー SB6XR×3台



スパイダーST1をハンズフリー機器として接続すればB+COMともつながる

ブルトウース・インターコム機能を持たないスパイダーST1だが、他社のインターコムからハンズフリー通話などに使うブルトウース・ヘッドセットとして接続することができる。例えばB+COMのSB6XRであれば、「ユニバーサルインターコール」機能を使って、B+COM側からスパイダー ST1を呼び出す形で接続すればOK。スパイダー ST1ではB+COMをスマートフォンなどのブルトウース機器として接続する。



ST1も実はブルトウースインターコムともつながる

「スパイダーST1」はリーズナブルなスタンダードモデルでありながら、セナ独自のメッシュ通信システムを採用している。メッシュ通話は人数のグループ通話が可能なだけでなく、わずらわしい接続操作がなく通話が切れにくいといったメリットがあり、これからのインターコム通話の主役だ。

スパイダーST1はそんなセナ・メッシュに特化したモデルだが、決してブルトウース・インターコムと接続できないわけではない。例えばセナの「+メッシュ」というワイヤレスアダプターを使えば、セナのブルトウース・インターコム全モデルと接続が可能。

また、スパイダーST1を使うという人は、グループのメンバーがセナのメッシュ・モデルを使っていることだろう。ブルトウース・インターコムは、そのメッシュ・インターコムに接続することでメッシュグループに参加できる。なにより、今どきのインターコムの多くが、他社のブルトウース・インターコムと接続できる機能を持っている。相手側の機能を使ってスパイダーST1を接続してもらえば、メーカーに関係なくインターコム通話ができる。

